

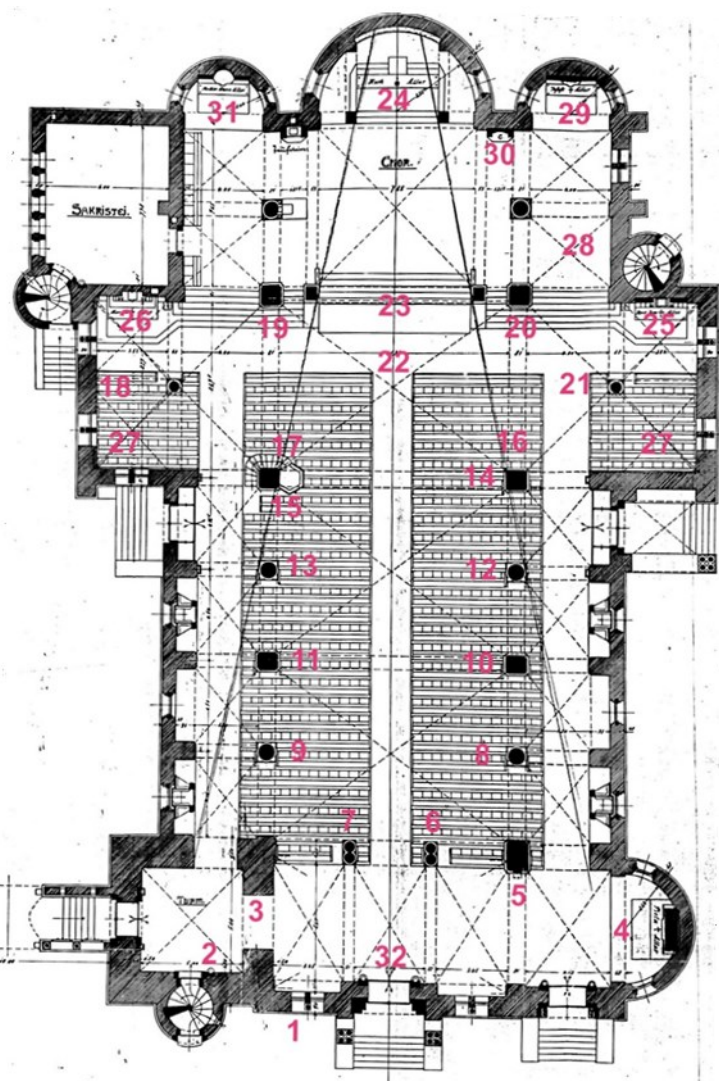
聖ヨハネス・ネポムク教会は、1912年から1914年に教会建築家のヨハネス・シュロットの設計によって元ライン島で建築された。ネオロマネスクの建築様式として構想され、わがカトリック教徒をはじめ、エクネーメによる結束の元、ケール市とその近郊の全キリスト教徒へ戸が開かれている。

解説：

鐘塔「ビック・ネップ」は、高さ56メートルで、五鐘（イエス、マリア、アロイシウス、フランシスカ、シェシリア）を宿す。

- 1 正面入口上方のフレスコ（切妻壁）は、キリスト昇天を描写する。
- 2 左側の入口：わが教会の守護聖人である聖ヨハネス・ネポムク（1350～1393、橋・告解内聞の保護聖人）の像。像はケール市の元駐屯教会からのものである。
- 3 左側の入口：礎石柱の砂岩に彫刻された聖母子
- 4 右側の入口：聖墓の横聖壇（受難週のみ開放）のピエタ（十字架から降ろされたイエスを胸に抱く聖母マリア）。
- 5 パドヴァの聖アントニウスの像（1195～1231）
- 6 ダビデ王の像（歌手・楽士の守護聖人）
- 7 聖シェシリアの像（ムジカサクラの守護聖人）
- 8 福音書記者のマタイの像
- 9 使徒のジュリアス・ジェイコブの像

- 10 使徒のフィリポの像
- 11 使徒のユダ・タデオの像
- 12 使徒のアンドレアスの像
- 13 福音書記者のヨハネの像
- 14 使徒のバトロメウスの像
- 15 使徒のヤコブの像
- 16 使徒のマティアの像
- 17 説教壇
- 18 聖カール・ボロメウスの像（1438～1584、司牧者の守護聖人）
- 19 使徒のペトロの像
- 20 使徒のパウロの像
- 21 聖アロイシウス・ゴンザーガの像（1568～1591。若者のための聖人）
- 22 1999年に、桜木とウェンジの木材から作られた中央聖壇（講壇、聖壇、腰掛、燭台）。聖餐式のための橋状の卓台は、ここが天界と地上を繋ぐ典礼における交点であることを示す。
- 23 聖壇上部の半円アーチの絵は、子羊（キリストの例話）を崇拝する24人の長老を示す（黙示録、4章参照）。左右で二頭の鹿は流れている水を飲んでいる。



24 旧高聖壇の上に磔刑図がある。聖壇の絵の中ではユダヤ人とキリスト教徒間の関係を、聖画像的で伝統的に表している：王女としてのキリスト教会（左）と盲人としてキリストに背を向けるユダヤ教会（極右）。

25 右側の横聖壇：写真の複製は、「ケール市の聖壇」と言われ、キリスト誕生祭を2つ描写している。原画は、今日カールスルーエ州立美術館にある。実物はモミ材の板絵で、1505年にマルティン・ショーンガウアー学区出身の無名で、ライン川上流の優れた職人によって描かれた。

26 左側の横聖壇：聖母マリア像

27 左右の翼廊：十字架の道行(ヴィア・クルキス)の14場面

28 洗礼盤は、古代ローマの水道橋の一部分を思い出させる。

29 聖ヨセフの像

30 イエスの聖心像

31 聖コンラートの像(1818~1894)

32 オルガン：初代のは、1922年に製作された。戦後にパイプオルガンがひどく損傷を受けたため、教区民は1988年に電子式のアルプボルン・オルガン(3段鍵盤、52ストップ)の設置を決断した。



問い合わせ先：

司祭館事務所

住所 Gustav Weis Str. 2

電話 07851 74040

ファックス 07851 740412

[johannes-nepomuk@kirchen-kehl.de](mailto:johannes-nepomuk@kirchen-kehl.de)

[www.kath-kehl.de](http://www.kath-kehl.de)

受付時間:

月～金 8:30-11:30



## 聖ヨハネス・ネポムク教会 ケール市



教会のガイド